

01

t e t e

特集 「新しいカタチ」



「伍桃」から『tete』へ

新潟医療福祉大学同窓会が設立して17年、社会で活躍している同窓生は11,292名にもなります。母校である新潟医療福祉大学は2001年、理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科・社会福祉学科・健康栄養学科の5学科からスタートしました。

「手で触れて感じること、手を差し伸べ合う気持ち」が母校のシンボルマークにもなっています。同窓生同士が「手と手」を差し伸べ合い連携できる環境や同窓会の体制づくりを進めてまいります。

その一歩として、この度、同窓会誌「伍桃」を同窓会誌『tete(てて)』へリニューアルいたしました。

この新しい同窓会誌が、同窓生同士を繋ぎ、手と手を差し伸べ合うきっかけになってくれればという想いを込めました。

また、新しい同窓会誌『tete』から皆さんへより有益な情報を届けできればと思っております。

同窓生や母校の情報をタイムラグなくお伝えできるように新しい情報発信方法として同窓会メールマガジンを定期配信してまいります。こちらも楽しみにお待ちください。

これから10年を見通した
本学の将来 今後とも新潟医療福祉大学同窓会を何卒よろしくお願い申し上げます。

新潟医療福祉大学同窓会 役員一同

お問い合わせ先 | 新潟医療福祉大学同窓会
新潟県新潟市北区島見町1398番地 新潟医療福祉大学事務局内 同窓会支援室
Tel 025-257-4500 Mail dosokai@nuhw.ac.jp

表紙のヒト

「厚生棟(B棟1階)ふれあい食堂の皆さん」

開学当時から皆さんの胃袋を支え続けている大学のお母ちゃん達。
当時と変わらない笑顔と大きな声、そして、変わらない味で今も在学生
の胃袋を支えています！「新しいカタチ」と「変わらないカタチ」が
これからの大・同窓会を支えていきます。



同窓会の新しいカタチ



学長 西澤 正豊

同窓会の皆さん、新型コロナウイルス感染症が依然蔓延する中ですが、お元気でご活躍のことと思います。

2020年6月に発表した学長マニフェストの一項に「面倒見のよい大学を目指す」ことを掲げ、その方策の一つとして、同窓会を支援し、同窓会の皆さんと本学の双方向の交流を促進することを明示しました。本学は一昨年度、卒業生が1万人を超ましたが、これまで卒業後の皆さんと本学との結びつきが強いといえない状況でした。そこで、丸田秋男教授に同窓会との相互交流を担当する副学長をお願いし、学生課内に同窓会支援室を設けて、本学卒業生の前山美優さんに担当いただいています。

この1年間、同窓会組織のインフラ整備を進めてきましたので、連絡網ができたら、本学から皆さんにさまざまな情報を送ります。皆さんの生涯学習をお手伝いできます。図書館の各種機能をご利用いただけます。大学スタッフと情報交換ができます。社会人として大学院に進学し、専門性を高めることもできます。本学は、皆さんが卒業された後も、皆さんにとって面倒見のよい大学であり続けたいと願っています。また、本学も同窓会の皆さんの力を必要としています。後輩の教育に関心のある皆さんは是非本学の教員となって、「優れたQOLセンター」の育成に加わってください。

同窓会の皆さんの益々のご健勝とご活躍を祈念して、ご挨拶をいたします。



TOPIC! 在学生PCR検査費用寄附金 目録贈呈式を執り行いました

2021年10月4日(月)、新潟医療福祉大学学長室にて『在学生PCR検査費用寄附金目録贈呈式』が執り行われました。2021年度新潟医療福祉大学同窓会総会にて、在学生1人につき1回分の検査費用を寄附することが決定し、同窓会 齊藤 公二 会長より西澤 正豊 学長へ、寄附金目録を贈呈いたしました。

さらに、同窓会から在学生に向けて新型コロナウイルスの感染予防対策に繋がるメッセージ動画を作製しました。動画は右のQRコードよりご覧いただけます。→

新潟医療福祉大学同窓会は、母校の特色を活かし、会員の皆様の資質向上と相互の親睦のため、様々な企画・運営を行ってまいります。同窓会員へよりよいサービスを提供するために、大学と同窓会員とのネットワーク構築が、今、始まっています。



会長 齊藤 公二

私たち同窓会は現在、ネットワークシステムの構築を最優先課題として行っています。理由は大きく2つあります。

1つ目は、同窓会では①会員の親睦・交流 ②会員の生涯学習の充実 ③本学学生(準会員)への支援 ④大学への支援という本会の果たすべき基本的役割を行うためです。

2つ目は、優れた同窓生の発見・発信・活用をすすめるためです。本学の同窓生は現在11,292名。多くの優れたQOLセンターがいます。その方々を皆さんほどだけ知っているでしょうか、また連携できているでしょうか。私たちは会員の皆様へそのような様々な情報を伝えるとともに、その情報をもとに、本学を含めた地域社会への貢献活動に繋げていきたいと考えます。そのためには随時更新される皆さんの現状を収集する必要があります。つまり、会員の皆様と同窓会、大学とのさらなる連携が必須です。

ここに聞けば答えがわかる、必要な人がわかる、仲間がいる、発見がある。本学同窓会は、そんな『QOLセンター』のようなネットワークシステムの構築・運用を目指したいと考えます。これから私たち同窓会は、さらに大学との双方向交流を組織的に強化し、手と手を携え、推進していきたいと考えます。



メッセージ動画は
こちらから!
QRコード

仕事のやりがいや、コロナ禍の中で生まれた『新しいカタチ』を教えてください。

お客様だけでなく、従業員も楽し

みながら明るく働けるお店を作ること

が私のやりがいです。職場での

働きやすさや金銭面をできるだけ

カバーして、従業員の『QOL』が下

がらないように気をつけています。

コロナ禍での時短営業で客足

が落ち込むなか、なんとかお店を

維持したいとの思いで、ランチ営

業とティクアウト事業を始めま

した。また、コロナ禍で落ち込ん

だ小千谷の街を何とか盛り上げ

たいと思い、『おぢやリアン』とい

うB級グルメを開発しました。こ

れが非常に好評となっています。

『おぢやリアン』は新潟のB級グル

メとして知られる『イタリアン』を

小千谷の食材でアレンジしたもの

です。小千谷市内の人気ラーメン

店「暁天(きょうてん)」さんの太麺

を使用し、ソースには小千谷の酒

蔵「高の井酒造」さんの酒粕を入れ

てミートソースのコクを出しています。

過去に小千谷市で開催された飲



食イベントにて暁天さんよりお声



コロナ禍で生まれた 起死回生のB級グルメ

がけいただきコラボをしたことがあり、

今度は私から「小千谷の新名物を作りた

いから麺を提供していただけないか」と

暁天さんへお願いをしました。ご協力い

ただけることとなりB級グルメの『お

ぢやリアン』が誕生しました。現在はお

ぢやリアンのソースをレトルト化して

スーパー等で販売できないかと考えて

おり、計画を進めています。

学生時代に養った「人との繋がりの大

切さ」は今の私自身の柱となっており、

仕事に活かされています。大学時代の友

人がお店に来てくれることもあります。

い限りです。

今後の目標は、三店舗目の出店です。

ゆくゆくはキッチンカーで全国を回り

経営者として伝えたいこと・ 今後の展望

私は【知覚動考】という四字熟語が好きです。何かを始める時や動き出す時に、リスクを考えすぎると行動できなくなってしまいがちですが、物事を知つて↓覚えて↓動いてから↓考えると、意外にすんなりと前に進めたりします。「ともかくうごこう」とも読まれています。

私もお店を立ち上げる際は「夢を叶えたい」という一心で、思い切って行動しました。

新潟県小千谷市で、2019年7月より「オヂヤバル MOB」というお肉の炭火焼料理の居酒屋を経営しています。2021年8月には「おぢや酒場もぶ煮」という二店舗目をオープンしました。

一度は実家の左官屋を継ぐことも考えましたが、「自分のお店を持つ」という夢があり、30歳までに開業をするという目標を立てました。ビールメーカーや飲食店で働きながら修行を積み、念願のお店をオープンできたのは33歳の時でした。

たいです。「おぢやリアン」や小千谷そばなどの特産物を詰め込んで、全国に小千谷をPRできたらなと考えています。

同窓生へメッセージ

「やらない後悔よりやつて後悔」。何かに迷っている時は、色々しがらみがあるかもしれません、とりあえず思い切つて行動した方がいいと思います。私も実際にお店を立ち上げて本当に良かったと思っていますし、いざやってみるとそこから新たにやりたいことが出てきて、面白いなと思います。もし悩むことがあつたら、気軽に飲みに来てください。



上／「おぢやリアン」ミートソースには粉チーズとブラックオリーブを散らし、赤・白・黒色の錦鯉カラーに仕上げている。下／炭火焼きMOB盛り

喋るのは得意ですが、聞き上手と



Information

オヂヤバル MOB

店名の「MOB(モブ)」には、お客様やスタッフと明るく楽しい雰囲気のお店を作りたいという思いを込めている。厳選した品質の高いお肉を炭火焼や低温調理など、さまざまな調理方法で提供する大衆バル。地元では味わうことの出来なかったこだわりの料理を気軽に楽しめる新空間を提供している。

[住所]〒947-0028 新潟県小千谷市城内1-6-9 [電話番号]050-1240-3779
[営業時間]17:00~24:00 新型コロナウイルス感染状況により変更となる場合がございます。ご了承くださいませ。[定休日]不定休 [総席数]47席
[駐車場]あり(店舗前に7台) [アクセス]JR上越線／小千谷駅 徒歩24分 JR越後川口駅14分



よく言われます(笑)。



厳選した品質のお肉を炭火焼でご提供する黒崎さん。

健康栄養学科
2009年卒
黒崎 諒さん

生まれも育ちも小千谷市。在学中は伍桃祭の実行委員長も務めた。

大学卒業後、実家の左官屋・ビールメーカーの営業・長岡市内の飲食店で約9年修業の後、2019年7月に「オヂヤバルMOB(モブ)」をオープン。修業先で出会った人と話していた「いつか一緒にお店できたら」を見事に実現させた。尊敬する経営者は、「株式会社馬喰ろう」代表取締役沢井圭造氏。

職種連携事例



新潟県新発田市にある私立新発田中央高等学校女子バスケットボール部にて、同窓生同士が連携した取り組みが始まっています。学校教育現場でもある部活動において、どのように職種連携がおこなわれているのか取材してみました!!

齊藤 私の勤務先である中学校から新発田中央高校へと進学する生徒がいて、その繋がりで同高校の女子バスケットボール部より栄養サポートの依頼があり、主に食事・栄養指導を2021年7月頃からおこなっています。

どのような活動をされているのですか

活動の目標などはありますか。

す。バスケットボールにおける身体の使い方も伝えていました。貧血をもつ選手もいるので、齊藤さんに当該選手の食事状況を適宜留意してください。



齊藤 公二さん
健康栄養学科2005年卒

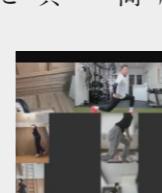


澤田 隆志さん
スポーツ学科2009年卒

健康スポーツ学科の一期生であり、強化男子バスケットボール部の一期生でもある。大学4年次には学生コーチとしても男子チーム初のインカレ出場に貢献。卒業後はトレーナーとして活動し、現在は自身で「Studio108(スタジオ・ワン・オー・エイト)」というパーソナルトレーニングスタジオを開業し、オーナー兼トレーナーとしても活動している。

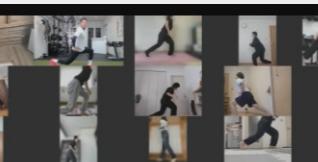
と共有し、トレーナー視点での意見や実際のパフォーマンス状態のフィードバックをもらっています。先日、練習翌前後の栄養補給の件でも澤田さんから相談をもらい、細かな意見交換をし、より良い方向へグラッシュアップしていきます。

澤田 体幹トレーニングや器具を使つたいわゆる筋トレもおこなっていますが、バスケットボールは身体接触ありきのコンタクトスポーツなので、接触に強くなるために身体をつけ合うコントラクトラーニングをメインで実施しています。



齊藤 同高校での職種連携は始まつたばかりなので、まずはお互いの視点からの細かな共有を続けていき、より良いサポートができればと考えていて。地域コミュニティの中でも多くの同窓生(多職種)が連携した事例検討などもできれば最高に面白いと思いますし、このような形でどんどん本学の良さを地域に発信し続けていきたいと思います。

澤田 コロナ禍ということもあり活動に制限があつたりもしますが、オンラインツールもあるので、選手たち・チームのためにより良い連携ができればと思っています。こういった職種連携ができるということを多くの同窓生に知つていただければと思います。



今後の展望はありますか



この本は、私が大学を卒業してすぐ
に出会い、女性コーチを目指すために
必要な資質とは何かを考えるきっかけ
となつた本です。コーチとして、まだ何

TAKING THE LEAD カナダ発 女性ヨーチ戦略と解決策



紹介してくださった先生は……

奈良利忠先生



新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 助教
新潟医療福祉大学水泳部 コーチ兼シャペロン
2012年 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 卒業
2021年 新潟医療福祉大学大学院 博士課程 修了(保健学)

新型コロナウイルス感染症の流行により、自宅で仕事を行うリモートワークが増えていました。それに伴ってパソコン業務が増加し、目が疲れやすくなっている方も増えてきているのではないかでしょうか。その要因の1つとして、パソコン業務を行う際に働く「調節」という眼の機能が影響していると考えられます。

調節とは、物を見る時に焦点を近くに合わせる機能のことです。眼の中には水晶体というレンズが入っており、私たちちは毛様体筋を収縮させ水晶体を膨らませることでピントを合わせる距離を調整しています。通常、近視や乱視などの屈折異常があり眼鏡やコンタクトレンズを装用している人や、屈折異常がなく裸眼視力が良好な人は、遠くを見る際は調節機能をほとんど使っていません。その一方で、パソコン作業や読書をする時のような近い距離の物を見

る時には、調節をして自分が見たい距離に焦点を合わせています。加齢とともに水晶体が固くなり調節する力が低下した状態のことを老眼といいます。老眼の人気が近くを見るための方法の1つに、老眼鏡(自分が見たい距離にピントが合うように調整された眼鏡)があることはよく知られています。この手元にピントを合わせた眼鏡は、近見作業の際の疲れ目の対策としても有用です。上述の通り、パソコン業務などの近用作業を長時間続けると毛様体筋が働き続けることになり、疲れ目の原因となります。手元にピントを合わせた眼鏡を装用することで、見た目距離にレンズで焦点を合わせることが可能となり、調節の負担を少なくして手元を見ることが出来ます。自分の生活スタイルにあつた眼鏡を装用し、見え方の質(Quality of Vision)の向上を心がけましょう。

紹介してくださった先生は……

奈良 梨央 先生

[本の取り寄せ先はこちら]

QRコード

この本は、私が大学を卒業してすぐに出会い、女性コーチを目指すために必要な資質とは何かを考えるきっかけとなつた本です。コーチとして、まだ何も知識がない中、女性コーチが抱える問題などを知ることが出来ました。その上、この本は問題が書かれていただけでなく、具体的な解決策までも書かれています！

私は、男女の別なく、選手・コーチ・サポートスタッフなどと、競技スポーツに関わる全ての人が能力を發揮できるような「共助コーチング」を実現し、目標に向かつて役割を尊重することができるコーチを目指しています。このコーチングを可能にするために、この本は欠かせず、指導者にとって「道しるべ」になるものと考えています。

新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 助教
新潟医療福祉大学水泳部 コーチ兼シャベルン
2012年 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 卒業
2021年 新潟医療福祉大学大学院 博士課程 修了（保健学）

同窓会の新しいサポートのカタチ 同窓生の“再就職・転職サポート”を開始します！

2022年4月より、新潟県の人材派遣会社「株式会社ヒューマンプレイン」と提携し、同窓生を対象とした再就職・転職支援活動を行います。求職登録することで、最適な求人の紹介や履歴書・職務経歴書の添削や面接指導等のサポートを1年間受けられます。また、求職登録しない方でも、キャリアコンサルティングを受けられたりeラーニングを利用できたりするため、スキルアップが望めます。

料金 無料

対象 新潟医療福祉大学の卒業生もしくは新潟医療福祉大学大学院の修了生で、就職活動への支援を必要とする方

**内容 ①求人紹介 ②履歴書・職務経歴書の添削 ③面接指導
④キャリアコンサルティングの提供 ⑤eラーニングの提供**



詳細については
➡こちらからご確認ください。



同窓会からのお知らせを届けるために、 会員情報の登録をお願いします！

今年度より、各学科の先生方から同窓会・生涯学習連携推進委員と同窓会サポーターが選出されました！委員およびサポーターを中心に、同窓生の皆さんへ会員情報登録依頼のお声がけをさせていただいております。

これまで主な同窓会活動として、同窓会誌の発行・送付を行ってきましたが、新たな取り組みとして、メールマガジン（学内情報・会員の活動・研修やイベントの情報提供）の発信等を検討しています。卒業後も有益な情報を届けたいですので、ぜひ会員情報の登録をお願いいたします。

なお、提供いただいた情報は、個人情報取扱基準に基づき適正に取り扱います。上記の目的以外での使用や、会員を除く第三者に提供したりすることはありません。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



国家試験・資格試験“合格祈願” “大願成就” クリアファイル寄贈

国家試験・資格試験を受験する4年次生の皆さんへ、同窓会より合格祈願・大願成就グッズを贈呈しました！クリアファイルには前年度に卒業した同窓生から、後輩たちに向けたメッセージが添えられており、夢や目標が叶うようにとの願いが込められています。



社会福祉学科国家試験出陣式の様子

役員紹介



会長
齊藤 公二
健康栄養学科2005年卒／
新潟市立光晴中学校 栄養教諭



副会长【連携担当】
田村 祐美(旧姓:田澤)
理学療法学科2007年卒／
新潟医療生活協同組合
通所リハビリテーションじょも



副会长【組織化・事業担当】
澤田 隆志
健康スポーツ学科2009年卒／
Studio108(スタジオ ワン・オー・エイト)
通所リハビリテーションじょも



首都圏支部長【事業開拓担当】
岡村 聰之
健康栄養学科2005年卒／
埼玉医科大学総合医療センター



首都圏副支部長【広報担当】
星 緩季
健康栄養学科2016年卒／
埼玉医科大学総合医療センター



首都圏副支部長【広報担当】
小田 雄基
臨床技術学科2017年卒／
さいたま赤十字医療センター



東北支部長【事業開拓担当(連携研修会)】
高橋 葵(旧姓:高野)
作業療法学科2011年卒／
株式会社りは・ぱっと ディーサービス・あくと



東北副支部長【広報担当】
濱田 祐輔
健康スポーツ学科2014年卒／
THE CÖSA(ザ・コーザ)



幹事【学内連携担当】
風間 美華(旧姓:若杉)
言語聴覚学科2014年卒／
JA新潟厚生連 新潟医療センター



会計・幹事【学内連携担当】
小嶋 萌(旧姓:吉川)
健康栄養学科2005年卒／
医療法人 恵生会 南浜病院



幹事【事業担当(新規事業担当)】
金内 一晶
健康スポーツ学科2016年卒／
JA共済連新潟

第9回 連携研修会

オリンピック・イヤーに学ぶメンタルトレーニングー^ト 大舞台で活躍するための「心技体」の実現に向けて

連携研修会とは 2013年より開催され、9回目の開催となります。新潟医療福祉大学での連携教育を踏襲し、専門職としての資質向上(スキルアップ)の実現を目的とした同窓会の中心を担う事業です。卒業教育・生涯教育を充実させるとともに、専門職として活躍している同窓生どうしの新たな連携方法を模索し、相互の親睦を深める機会を提供しています。

2021年12月4日(土)第9回 連携研修会がオンラインにて開催されました。2021年はオリンピック・イヤーということで、大舞台に臨むアスリートの「心」を入口に、心理的スキル(無自覚的なものも含む)とその実践について考えました。

困難さの中で紡がれたアスリートの心の技(奥義)を参考に、自信の生活や仕事上の困難に打ち勝つ、「心技体」の実現を目指します。

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、昨年度に引き続きWEB形式による研修会として開催しました。



【第一部 特別講演】

「心」を窓口にアスリートを支援する

講師：山崎 史恵 氏

(新潟医療福祉大学 健康科学部 健康スポーツ学科 教授)



準備とは、言い訳を排除すること

講師：水沼 尚輝 氏

(新潟医療福祉大学 スポーツ振興室 所属／健康スポーツ学科2019年卒)

【第二部 同窓生によるパネルディスカッション】

講師：山崎 史恵 氏

新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 教授

コーディネーター：岡村 聰之 氏(健康栄養学科 2005年卒)

新潟医療福祉大学同窓会 首都圏支部副支部長

パネラー：横田 裕丈 様(理学療法学科 2005年卒)

新潟医療福祉大学 理学療法学科 助教

星野 美美 様(健康栄養学科 2005年卒)

新潟医療福祉大学 健康栄養学科 助教

佐藤 未希 様(義肢装具自立支援分野 2019年卒)

長谷川 直人 様(健康スポーツ学科 2019年卒)

新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科 助教

(株)新潟アルビレックスランニングクラブ 所属

\ Voices /

講師：山崎先生より

医療・福祉・健康・スポーツを学んだ本学卒業生たちの多方面での活躍を聞かせていただき、これらが交わったとき、イノベーションの新世界が広がるような面白さを感じました。

まさに連携の魅力ですね。

歴史を重ねながら、新潟医療福祉大学の縦糸と横糸を卒業生とともに色彩豊かに織り上げていくことを楽しみにしています。

コーディネーター：岡村氏より総評

東京2020オリンピック大会が開催された本年、初めて健康スポーツ学科を主幹としたテーマで実施しました。各々が苦境に立たされた際に、心理的スキルをどのように実践し、また支援していくかを学べる場となりました。

昨年に引き続き、Live配信とオンデマンド配信にて当研修会を継続できました。同窓生や在学生への発信方法を工夫したこと、昨年よりも視聴数を上回る結果に繋がったと考えております。講師の先生方をはじめ、関係者の皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。



パネラー・同窓生より

・卒業生の先輩方と関わる機会はあまりないので貴重な経験になりました。他の分野のプロから自分に関係する新しい知識をいただくことができました。
・非常に楽しい時間を過ごさせていただきました。ご参加の皆様の様々な専門性の中で、連携研修会ならではの非常に貴重なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。

